

令和2年6月18日

広島県手をつなぐ育成会
各支部の皆様へ

広島県手をつなぐ育成会
会長 金子麻由美

日頃より、育成会活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

新型コロナウイルスの緊急事態宣言が5月25日に全面解除され、6月1日からは学校も再開し、日々の暮らしを取り戻しつつあるこの頃ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

私たちの支部の入所施設からも集団感染が確認される事態となりましたが、全職員の皆様が一致団結して介護をされ、6月3日には感染者63名が全員陰性になったと嬉しいニュースが入りました。理事長様を始め職員の皆様の頑張りに心から拍手を送りたいと思います。

さて、全面解除はされたものの、治療薬やワクチンの開発まで時間がかかりそうですし、広島県も「警戒は継続を」といような制限が解かれていません。そんな中、皆様の周辺では困られたご本人やご家族はおられないでしょうか？何かご心配なことがありましたら、お気軽に広島県手をつなぐ育成会までお知らせください。

今回は、全国手をつなぐ育成会連合会（以下 全育連）から送られてきた施策や方向性を中心に情報を整理してお届けしたいと思います。

○「障害者虐待を受けた人への特別定額給付金支給に関する特例」(No. 2参照)

障害者虐待を受けて、家族と住まいが分かれている方がおられましたら、参考にしていただけたらと思います。

○「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業」(No. 3参照)

感染症により介護サービスの提供に影響が出ないように、かかり増し費用を支援することが決まりました。全育連からも要望していたものですが、この「介護サービス事業所等」の中に「障害福祉サービス」も含まれます。都道府県・政令市の負担がありますが、負担分が「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の対象となり、実質的には地方負担なしで行えます。事業所の皆様は、是非申請をお願いします。

○災害支援基金の見直しについて (No. 4参照)

全育連は、大規模災害に備えて「災害等活動支援基金」を設置しています。その資金は「手をつなぐ」賛助会費からの1会員年間50円が主財源です。新型コロナウイルス感染症も、

まさに大規模災害です。そのため、今まで災害の定義が「地震、風水害その他の自然災害」でしたが、そこに「疫病」も加え、回復を図るための活動やイベント開催にかかる経費の助成などに当てたいと機能拡充の提案がありました。そのため、災害等活動支援基金専用口座を設けて入金された寄付金や支援金なども積み立てていきたいので、育成会会員の皆様をはじめ、ご親族や地域の皆様にもご協力いただきたいとのことです。このことについては、既に全育連の理事会で議決され、今後の同総会でも承認される見通しです。資料の通りご承知していただきたく思います。

○広島県では、新型コロナのクラスター発生時に組織を越えて介護職員を派遣へ（No. 5 参照）

三次市の介護施設と冒頭にお話した広島市の入所施設で相次いでクラスターが発生し、法人内で懸命な介護が続けられました。職員さんの疲弊が心配されています。そこで、広島県はクラスターが県内の社会福祉施設で起きた場合、その施設が希望すれば、施設の垣根を越えて介護職員を応援派遣する仕組みを導入することが決まりました。県から依頼を受け、県内 212 法人が加盟する県社会福祉法人経営者協議会が応援派遣する施設を調整することによって、県は予算の確保などサポートする方向です。いざという時に、職員と利用者を守るために利用していただきたいと思います。

○東京都杉並区の情報提供

杉並区は5月12日、新型コロナウイルス対策で、障害者や高齢者を預かる臨時の宿泊施設を来月設けると発表しました。感染した人が、身内の障害者や高齢者の介護ができなくなった場合の対策です。

家族が感染して入院することになったら「重い障害のある子どもが自宅に一人で残されて心配」「ホテル療養と言われても、自宅を選ぶしかない」などの不安の声から、閉園した保育園の建物を活用して、介護を必要とする人が最大で同時に五人、宿泊できるようにしました。必要な介護はヘルパーを派遣して行う・・・自宅以外での生活が難しい人には、自宅にヘルパーを派遣・・・補正予算として約3,800万円を計上・・・などと伝えています。

ただ、この時、日ごろから本人を知っている人が支援に入ることが必要です。それはヘルパーだけでなく、お隣のおばちゃんだったりします。災害と同じように、相談支援を中心にチームを組んでおき、支援に入った人には一般の人でも日当が入る仕組みが必要です。家族も日ごろから、子どもを知ってくれる人を増やす努力をする必要があります。

ほかにも、神奈川県や神戸市でも、同じように取り残された高齢者や障害者が陰性の場合受け入れる短期入所と陽性の場合のケア付き宿泊療養施設を設定したとの情報があります。

広島県でも同様の対策が必要と考えています。

○「全国手をつなぐ育成会連合会ユーチューブ公式チャンネル」のご紹介（No. 6 参照）

自粛で外出が制限されて仲間になかなか会えなくても、みんなつながっているよ！ということで、全育連では「みんなの笑顔を増やすプロジェクト（新型コロナでもつながろう!）」が立ち上がりました。

<https://www.youtube.com/channel/UC5ku3sanVaM1u6hM4MLCKVA>

このチャンネルから、全国の仲間の皆さんの笑顔が見られますよ！

皆さんも、室内で好きなことをしているところや、散歩やドライブ中の写真や動画などスマホで撮って送ってみませんか？ 詳しい応募の仕方は、資料をご覧ください。

なお、コンテンツやメッセージの発信については、不適切な表現の無いよう、誹謗中傷にあたる内容でないことを確認した上で行ってください。

○障害年金で国会質疑について

（質問は公明・山本香苗議員。答弁は厚労省の年金管理審議官です。）

質問：

- ・障害年金について。知的障害など申請時、病歴就労状況等申立書に発病したときから申請時までの経過をものすごく詳細に書かないといけない。見直してほしい。
- ・どういう障害が永久認定になるのか、有期認定で1年とか3年とか5年とか、どう違うのか。明確なルールを示し、障害等級などが継続されている場合は更新期間を長めに設定するとか、設定の仕方も改善していくべきではないか？
- ・障害年金の不支給になった場合、納得できず再度申請したり、症状が悪化したためあらためて同一傷病で障害年金の再請求をしたりする場合、初診日の証明書などを再度提出しないとけない。既に初診日が変わらない限り、機構にその書類があるので、それを運用できないのか？

等、とても重要な指摘に対し、検討中であり、本年秋頃を目途に整理したいとの答弁がされています。詳しい内容は参議院のホームページから録画をご覧ください。是非、皆さんで注視していきましょう。

○「GIGA スクール構想の実現」にむけて

このたびの新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国の学校で長期に渡る休校措置がとられる中、オンラインによる遠隔授業や Wi-Fi 環境の整備等、学校での ICT 技術の活用が注目され、話題になりました。

学校における ICT 環境の整備については、以前より全国の小・中・特支等の児童生徒が使用する PC 端末を整備や高速大容量の通信環境を整備する「GIGA スクール構想」があり、その早期実現に向け、その前倒し措置として令和2年度補正予算案において、経費が盛り込まれていました。

ところが、これらの児童生徒1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備のための予算が執行される前に、休校措置がとられる中で、ほとんどの学校がオンライ

ンによる遠隔授業の環境が未整備であることが分かり、この整備が急務であったことを国民が知るところとなりました。

国公立の小・中・特支等の児童生徒が使用する PC 端末の整備については、都道府県、政令市、その他市区町村教育委員会が予算化し、国が補助（上限 4.5 万円/1 台）することとなっています。同様に、高速大容量の通信ネットワークの整備についても国が 1/2 補助することとなっています。加えて、デジタル教材等のコンテンツの作成や指導方法の支援のための人的な支援体制の構築も予算化されています。

新型コロナウイルスの第二波を見据え、「GIGA スクール構想の実現」に向けて、育成会として、今後ともあらゆる機会を利用して、区市町の関係機関に働きかけていきたいと考えています。

新型コロナは今までにない脅威で、今後も油断がなりません。会員の皆様からのご意見を踏まえて、必要な意見は行政や全育連に届けて対応を考えていきたいと思えます。

まずは全育連から出ている「新型コロナウイルスにかからないようにするために」のプリントを参考に、一人一人が十分に気をつけていただき、本人さんを中心に皆で手をつないで乗り越えたいものです。